【別添】

令和6年度 学校自己評価システムシート

日高市立高麗川小学校

目指す学校像	夢いっぱい 笑顔いっぱい 希望あふれる高麗川っ子の育成 ～子供たちが通いたい学校 保護者が通わせたい学校 教職員が勤めたい学校 地域の方が誇りに思う学校 ～
重点目標	1)主体的・対話的で深い学びによる学力の向上 2)授業力・指導力の向上 3)生徒指導・教育相談の充実 4)小中合同での課題研究の実施 5)小中一貫教育の具現

年度目標		年度評価 (令和7年1月15日現在)					学校運営協議会での評価	「学校運営協議会での評価」を受けて
評価項目	具体的方策	評価指標	評価基準	教職員の割合	保護者の割合	目標の達成状況	達成度	次年度への課題と改善策 (・次年度へ継続する課題 ・改善していくための方向性)
組織運営の充実 小中一貫教育の視点	・積極的な情報提供による、学校教育目標の周知と共有 ・小中合同研修会の実施による小中一貫教育の推進	1 学校は、学校教育目標「考える子」「思いやりのある子」「ねばり強い子」の実現を目指し、児童の育成に努めている。	A+B	96.8%	96.1%	・評価指標1については教職員、保護者ともにA+Bの割合が昨年度より、3%上がった。 ・昨年度に比べ、A+Bでは、評価指標2は教職員については、10.4%下がった。保護者については、逆に10.2%上がっている。小中の教職員の足並みをそろえることが難しかった。	Y	達成率 91% ・学校教育目標という言葉が形骸化することがないように、学校行事や日々の教育活動がどの目標にあたるのかを全教職員が意識し、指導にあたる。 ・小中合同学校研究の発表を終え、各教科ごとの9年間を見通した系統性のある教育課程をより具現化していく。 ・学校運営協議会、地域学校協働本部と連携し、地域の方々との交流を具現化する。
		2 学校は、中学校との連携を推進し、小中一貫教育に努めている。	A+B	77.5%	91.8%			
			Aのみ	19.4%	21.3%			
基礎学力の定着	・主体的・対話的で深い学びを目指した授業研究会の実施 ・自主学習への意欲付けによる家庭学習の習慣化	3 学校は、学習内容が身につくよう、学習規律を定着させ、わかりやすい授業、楽しい授業をしている。	A+B	87.1%	91.2%	・昨年度より保護者については評価指標3、4ともに0.4%以上だが上がった。教職員については、評価指標3は1%、評価指標4については10.2%下がっている。協働的な学びの工夫と非認知能力(自己効力感)に視点を当てた授業づくりの研究会を年間6回実施し、教員の指導力向上につなげた。 ・夏季休業日中の研修において、全国学力・学習状況調査や埼玉県学力・学習状況調査の結果分析を行い、児童にとって有益となる方法を全職員で確認した。	Y	達成率 87% ・協働的な学びのさらなる推進を目指し、授業におけるペアやグループ活動の有効的な在り方について研究を続けていく。 ・児童一人一人が自力で解決しようとする姿勢を育てていくための指導や支援について研修をしていく。 ・引き続き、タブレット端末による個別学習システム(e-ライブラリー・学びポケット等)を活用し、基礎学力の定着を図る。
		4 学校は、児童が家庭学習に取り組めるよう指導している。	A+B	83.9%	85.8%			
			Aのみ	25.8%	21.3%			
保護者や地域との連携 コミュニティ・スクールの視点	・各種便り、メール等による情報発信 ・学校公開の実施 ・共感と傾聴を大切に三者相談の実施	5 学校は、保護者・地域に学校の取組や教育活動を伝えている。	A+B	100.0%	96.1%	・昨年度と比べ、教職員については、ほぼ同様の数値である。保護者については、評価指標5は1.8%、評価指標6は3.3%上がっている。 ・学校だよりの内容やホームページの積極的な更新等により、保護者や地域の方々が発信した。 ・教育相談日や個別相談を通じて、保護者との連携を深めた。 ・地域の方々からの声を誠実に受け止め組織的に対応した。	X	達成率 95% ・引き続き、ホームページの迅速な更新を継続していき、保護者や地域の方々がいづつも最新の学校の状況を閲覧できる機会を増やす。 ・学校運営協議会の方々との意見交換及びご助言いただき、地域とともにある学校を目指していく。そのために、地域学校協働本部を活用し、学校課題を解決していく。 ・電話や来校等、保護者、地域の方々からの声を丁寧に傾聴し、学校全体で共有し、真摯に対応していく。
		6 学校は、家庭への連絡や相談など、意思疎通を図ろうとしている。	A+B	96.7%	88.0%			
			Aのみ	54.8%	35.5%			
社会性・人間性の育成	・いじめアンケート、生活アンケートの実施による実態把握 ・生徒が主体となり活躍できる行事の実施	7 学校は、児童がだれとでも仲良く生活し、いじめや不登校がないように努めている。	A+B	100.0%	90.7%	・評価指標7については、昨年度に比べ、教職員は5.8%、保護者は3.8%上がった。評価指標8については、教職員は2.9%、保護者は2.3%下がっているが、高い評価を維持している。 ・年3回いじめアンケートを実施し、早期発見・早期対応を共通理解・共通行動のもと取組んでいる成果が出た。 ・読み聞かせボランティアや野菜収穫体験等、地域の方々とのふれあい活動や各種行事の充実が図れた。	X	達成率 97% ・道徳の時間において、学校教育目標「思いやりのある子」の育成を目指し、主幹教諭(長期研修修了者)及び道徳主任を中心に、全教職員で児童の心に響く授業展開を目指す。 ・「生徒指導・いじめ防止委員会」での情報共有及び、共通理解・共通行動のもとで、教職員一丸となり、児童に思いやりの心を育てていく。 ・全校遠足やたてわり班活動において、地域の方々や学校周辺の自然に触れる機会、体験活動を充実させ豊かな心を育てていく。
		8 学校は、学級活動や児童会活動、学校行事などを通して、児童の心の育成をしている。	A+B	100.0%	95.6%			
			Aのみ	58.1%	40.4%			
安心安全な教育環境	・施設設備の月点検、日常点検の実施 ・定期的な自転車点検や学期末ごとの交通安全指導、年度当初の交通安全教室の実施	9 学校は、校舎内外の施設設備などが安全に使用できるようにしている。	A+B	93.6%	96.2%	・評価指標9について、昨年度に比べ、保護者は2.9%上がっている。毎月の定期点検を確実に実施し、修繕箇所は、児童第一の目線に立ち、すみやかに実施することができた。 ・評価指標10については、昨年度に比べて、教職員は2.9%上がったが、保護者は4.1%下がった。 ・飯能警察の方にご来校いただき、不審者侵入対応訓練を実施し、教職員と児童ともに危機管理意識が高まった。	X	達成率 93% ・各担当教職員及び管理職等、複数の目による毎月の定期点検を実施する。修繕を行う場合、優先順位をつけて、可能な限り早急に対応する。(児童の学校生活に関わることを第一) ・今後も避難訓練(火災・地震)及び不審者侵入対応訓練を実施し、教職員の安全意識を高めていく。そして、学校が児童にとって安心安全な居場所となるようにしていく。 ・令和8年度からの大規模改修に向け、教育総務課との打合せを充実させる。
		10 学校は、児童に登下校時の交通安全など、安全安心な学校づくりに努めている。	A+B	100.0%	80.3%			
			Aのみ	54.8%	26.2%			

学校運営協議会での評価
実施日 令和 7年 1月 24日
学校運営協議会の委員からの意見・要望・評価等

「学校運営協議会での評価」を受けて

「次年度の課題と改善策」に係る変更点や追加事項等(※変更点や追加事項等がない場合は空欄)

・年度当初の職員会議において、全教職員に対し、学校教育目標の周知徹底をする。
・小中交流事業の見直しを検討し、教職員間及び児童生徒のよりよい交流の実現を目指していく。

・家庭学習の手引き等、学校外で児童が主体的に学べる方策を練り、実施していく。
・主に国語科において、年間指導計画を見直し、低学年の段階から、鉛筆でノートや紙に書くという指導の充実を図る。

・ホームページやリーバーの配信において、学校が困っていることも発信していく。(雑巾が不足している・行事や学習に必要なボランティア等)

・来年度も年間2回の教育相談日継続していき、児童にとってよりよい学校生活が送れるように、担任と保護者のコミュニケーションを図っていく。
・全校遠足において、地域や保護者の方の協力を要請し、安心安全で充実した行事となるように検討していく。

・大規模改修に向け、児童にとってよりよい設備環境になるように、引き続き運営委員会や安全部において課題や改善点を共有し、教育総務課へ要望をだしていく。

・学校教育目標の周知と共有は概ね実施できている。
・小中一貫校への準備は、時間的な制約もあり、あまり実施できていないように感じる。
・小中一貫について、児童生徒がどのように感じているのか等、感想を聞いてみたい。
・小中一貫教育に対しては、認知されたことは良いことだが、次年度以降もさらに評価をもらうためには工夫が必要である。

・家庭学習については、低学年から一言日記でも良いので、宿題以外にも行うくせをつけていくことはどうか。大きくなって急にやれるものではないと思う。
・これからの時代を生きていく上で、パソコンやタブレットを使った学習は今までどおり進めてもらいたい。一方で、基礎である読む、書く、話すなどの学習も並行して力を入れてほしい。
・教職員は分かりやすい授業に取り組んでいると思う。
・学力向上には、家庭での協力により自主学習の意識づけと家庭学習の習慣化が必要であると感じる。
・授業において学習にいかに取り組ませるか努力している様子がある。

・ホームページの内容の充実が学校の発信力を大きくしている。保護者も期待している。
・小学校の保護者は我が子中心に考えるので、たとえわずかでも保護者の評価が上がっているのは良い傾向であると思う。
・学校と保護者、地域との連携はできていると思う。
・学校の諸課題を解決するために、さらなる工夫をし、評価をあげてほしい。

・定期的ないじめアンケートが大切なことはもちろんだが、1番大切なことは、担任の目であり、言葉かけだと思う。日頃の授業の中で常に子供たちに目を配っていただければありがたい。
・いじめアンケートの取り扱いが難しいと思うが、色々な形で取り組みがある。
・体験学習等で地域とつながってほしい。
・いじめや不登校の対策はよく実施できていると感じる。
・達成感を味わえる行事の内容や過程の工夫が必要だと思う。

・いつ訪問しても学校内がきちんと整備されており、定期点検はしっかり行われていると想像できる。評価指標10において、教職員と保護者の評価に差があり、気になった。
・見た目で学校の印象が変わる。直せる所は直して欲しい。
・施設点検を行い、安全が確保されている。
・通学班の課題もあるが、登下校の安全、校内整備等、安全への配慮がある。